

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	用地対策課	氏名	島田 雅史
派遣先 団体名	NPO法人 しまね歴史文化ネットワークもくもく		

① 研修の日時 及び 内容

■平成24年8月24日(金)13:00～14:00

- 石見銀山三日籠りの説明
- スケジュール打ち合わせ

■平成24年9月13日(木)15:00～17:00

- イベント日程の確認及び事前準備

■平成24年9月14日(金)～17日(祝)

- イベント運営スタッフ
 - ・講座等の会場設営、進行補助
 - ・参加者の引率

イベント日程と活動の様子

9/14 【共通】

オリエンテーション
講座「石見銀山の歴史」



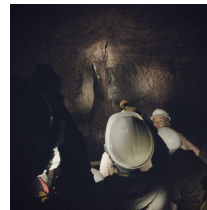
9/15 【Aコース】

遺跡探訪&昔の炊事体験



【Bコース】

大久保間歩ツアー&田舎暮らし体験



9/16 【Aコース】

銀山街道ウォーク



【Bコース】

要害山ツアー



【共通】

温泉津温泉入浴&UIターン者との交流会

9/17 【共通】

公開講座
「世界記憶遺産～山本作兵衛翁が描いた世界」

② 研修の感想

石見銀山は世界遺産に登録されて5年となるが、登録範囲が広範囲にわたり、観光客が「どこが世界遺産ですか？」と聞くのも納得できるくらい、一見しただけではその価値を理解しにくい遺産である。今回運営スタッフとして参加した「石見銀山三日籠り」は、銀山周辺に滞在して生活文化や歴史的風景に触れつつ、石見銀山についての知識・理解を深めるイベントで、“石見銀山を知る”には適したスタイルであり、私自身も多くの知識を得ることができた。

このイベントは毎年少しずつ内容を変えながら今年で11回目を迎えたそうだが、参加者の中には、すでに何度も参加して今ではスタッフ側に回った方、数年ぶりに参加された方など長く続けているからこそ顔ぶれもあり、イベントを通じて生まれた縁というものを感じられた。他にも世界遺産であること、鉱山であることなど、それぞれ異なる点で興味を持つ方々が参加しており、様々な視点で石見銀山を捉えることができたのではないかと思う。

宿泊先などで「石見銀山三日籠り」を始めた経緯や裏話を伺うことができたが（本当はこうした話を伺うことが本研修の重要な部分かもしれないが…）、どのNPO法人でも共通するであろう、ヒトやカネの確保が課題であるように感じられた。ただ、以前派遣されたNPO法人では、ヒトやカネが充実してしまうと自分で努力しなくなるといった話も伺っており、そうした中で県はどのようにNPO法人などと協働していくべきか考えさせられた。今回の派遣で私自身がどれくらい貢献できたかは分からないが、普段の業務や他の研修先で得られた知識やノウハウをこうした機会に提供していくこと、それも協働のひとつの姿ではないかと思う。

③ その他特記事項

このイベントの特徴として、プロが行うツアーではないので参加者の要望等にかなり柔軟に対応できることが挙げられると思うが、その分スタッフには臨機応変な対応が求められる。受動的になる場面、能動的になる場面を上手に使い分けて、運営に携わる必要性を感じた。